

AV情報スクランブル

Audio Visual Information Scramble

◆主要記事◆

- ◆協会等協力の教材映画ビデオ完成
- ◆科学技術映像祭入選作品
- ◆松下視聴覚教育財団実践研究助成決まる
- ◆下中教育映像助成金入選作品
- ◆上田市マルチメディア情報センターDVDビデオ完成
- ◆EARTH VISION '99入賞作品
- ◆NECマルチメディアアート大賞決まる
- ◆日本教育メディア学会第1回研究会発表者募集

日本視聴覚教育協会協力作品

作品名	規格	利用対象	教科等	製作社
算数 すきになれるかな 算数的活動	ビデオ 22分	小学校 (低学年)	算数	東映
つくる、飾る よりよい自分を表現する	ビデオ 22分	高等学校	美術	桜映画社
いのちをまもるための 五つのやくそく	16ミリ 20分	小学校 (低学年)	特別活動	日本映画新社
お酒は子どもになぜ悪いの？	ビデオ 20分	小学校	保健体育	共和教育
あしたね ゆれ動く心 4歳児	ビデオ 22分	(高学年)	職業技術	岩波映像
学校にネットワークを/ 小学校・中学校編	ビデオ 20分	成人	職業技術	日本シネセル
どび出そう町の中へ自然の中へ 夢を持った子どもを育むために	ビデオ 20分	少・青・成	家庭教育	新生映画
心かよいあうボランティア活動 子どもたちと共につくる学び	16ミリ 20分	成人	地域社会	リュック

日本視聴覚教材センター協力作品

和楽器に挑戦	ビデオ 21分	中学校	音楽	東京シネ・ビデオ
微生物の働きと生物のつりあい	ビデオ 20分	中学校	理科 (生物)	学習研究社
地震と災害	ビデオ 20分	中学校	理科 (地学)	毎日EVRシステム

◆協会情報◆

(財)日本視聴覚教育協会・
(財)日本視聴覚教材センター協
力の教材映画・ビデオ一作品が
完成

標記両財団の協力により製作が
進められていた、教材映画・ビデ
オ一作品がこのほど完成した。
タイトル、規格、利用対象、教

◆AV情報◆

科、製作社は左表参照
また、本誌では、これら一作
品のそれぞれの活用事例を、六月
号より順次紹介していく予定。

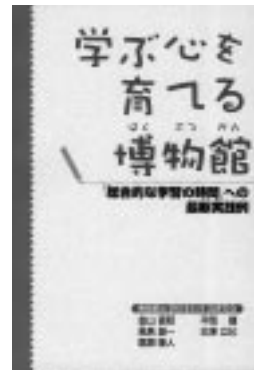
松下視聴覚教育研究財団、第二
六回実践研究助成「第七回研究
開発助成」先が決まる
(財)松下視聴覚教育研究財団

●ブック・レビュー

「学ぶ心を育てる博物館」『総合的な学習の時間』への最新実践例』博物館と学校をむすぶ研究会編著 ミュゼ、二〇〇〇年三月刊、A五判、一二六頁、一五〇〇円

近年、博物館に対する関心が教育の世界で高まっているように感じられる。それを促したのが新しい教育課程に登場することになった「総合的な学習の時間」であるが、博物館は各地にあつて、生涯学習の資料の宝庫であり、学習の場でもあることは確かである。

この本は、副題にもあるように学校教育と博物館との連携に焦点をあて、五つの公立博物館の事例を学芸員の立場から述べている。博物館での学習プログラム、学校への「出前授業」、学芸員と教員との協業による体験学習など、それぞれの試みは「博学融合」の好例である。しかし、視点を変えると、博物館資料をより大きな学習メディアの一環としてとらえ、それらを総合的な学習活動の中に位置づけることの重要さが語られている、といえよう。その意味で注目されるのは、金山喜昭氏（千葉



県野田市郷土博物館)が博物館での学習で「感動」と「知的理解」とのバランスをとることを重視しプログラムに映像鑑賞、実物資料を使用しながらの解説、自由見学および体験学習を組み入れているのは興味深い。金山氏には「地域博物館のソーシャル・マーケティング戦略」(ミュゼ、一九九九)という著書もあるが、郷土の作曲家の業績を掘り起こす過程で、地域の子どもや成人の活動の組織化を博物館を母体として、展開した事例が記録されていて、これまた注目される。

さて、『学ぶ心を……』では、他に博物館での活動事例一九と、廣瀬隆人氏による、学校と博物館との融合をめぐる考察、関連法規が収録されていて参考になる。

(高桑 康雄)

主催による標記助成には、それぞれ一九四件、一四九件の応募があり、次のように助成先が決まった。第二六回実践研究助成

テーマ研究(全三件) 千葉市立新宿小学校、岡崎市立山中小学校、東京都私立早稲田大学高等学院

一般研究(全七八件) 愛知県高浜市立高取幼稚園、青森県浪岡町立王余魚沢小学校、秋田県秋田市立築山小学校、茨城県つくば市立竹園東小学校、埼玉県東松山市立青鳥小学校、東京都私立慶應義塾幼稚舎、長野県諏訪市立諏訪南中学校、和歌山県美里町立美里中学校、島根大学教育学部附属中学校、東京都全国高等学校視聴覚教育研究協議会、大阪教育大学教育学部附属養護学校他

第七回研究開発助成

1・高等教育における新しいメディア利用研究(全七件)
インターネット・マルチメディアによる高等教育の改革 向後千春氏(富山大学教育学部助教授)他二件、遠隔・衛星による教育の改革 松井賢二氏(新潟大学教育人間科学部助教授)他一件、メディアによる新しいコミュニケーションの創造 鶴野公郎氏(慶應義塾大学総合政策学部学部長)他一件

2・新しいメディアの教育利用研究
インターネットによる新しい双方向学習の研究開発 杉本雅則氏(東京大学情報基盤センター助教授)他三件、マルチメディア・メディアミックスの教育利用 村井満万寿夫氏(石川県教育センター情報教育課指導主事)他四件、校内ネットワーク活用学習の研究 高橋庸哉氏(北海道教育大学教育学部附属教育実践総合センター助教授)他一件、マルチメディアの教材編集の研究 中村美奈子氏(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所COE研究員)他一件

その他の詳細は、同財団ホームページの下記のアドレスへ。
<http://www.nief.or.jp/>

上田市マルチメディア情報センターDVDビデオ、信州映画百選 地域映像デジタルアーカイブ」を完成

上田市マルチメディア情報センター(長野県)では、平成七年度より、上田市が進める「地域映像デジタルアーカイブ構想」に従って、地域に残る写真やフィルムなどの映像資料を収集し、デジタル化することによって保存し、再生

●ソフトウエア

㈱アスキー

CD ROMとビデオがセットになった教育ソフト

「生き物いろいろ飼育・観察大百科」

学校で飼育できる約一〇〇種の生き物の観察・飼育方法をCD ROM二枚、ビデオ二巻に収録

収録動物は、哺乳類(イヌ、ネコなど二二)、鳥類(セキセイインコ、ジュウシマツなど七)、爬虫類(中型トカゲ、イシガメなど四)、両生類(アカガエル、イモリなど四)、魚類(キンギョ、フナなど二五)、昆虫類(カブトムシ、クワガタなど二五)、節足動物(ヤドカリ、アカテガニなど二三)、軟体動物(カタツムリ、イイダコなど七)、環形動物・腔腸動物四種をあげている。

ビデオには、生き物の特徴ある生態がわかるように収録されている。子どもたちが生き物を飼っていて、観察しにくい個所や見落としてはいけない活動の様子を、はっきりと描いている。

CD ROMの機能としては「飼育と観察」の画面から、自分が調べたいところへすぐに入ること



ができるようになっている。「Q&A」では素朴な疑問に答えてくれる。「飼育の心」では動物を飼うことの意味や心構えについて専門家が解説。「インターネット」ではインターネットに接続し、生き物に関する世界中のさまざまなホームページを自由自在に見ることができ、「ビデオライブラリー」では不思議な特徴のある生態をムービーで見ることができ、操作が簡単で、初めての人でもすぐに使いこなすことができる。(鈴木 勢津子) 価格

CD ROM、ガイドブック、ビデオ二巻三三、〇〇〇円(ビデオ二巻一五、〇〇〇円) 問い合わせ (株)アスキー 電話〇三 五 三五一 八六五七 <http://www.asciieducation.com/>

再利用する活動を行っている。

同センターでは、(社)映像文化製作者連盟の協力を得て、一九四一年から一九七九年までの長野県に関する映画一〇〇タイトルと時代の世相を反映するニュース映画五タイトルで、ディスク八枚に納められている。なお、五月より八万円で販売する(先行予約は七万二〇〇〇円)。問い合わせ「上田市マルチメディア情報センター」電話〇二六八 三九 一〇〇〇

◆コンクール情報◆

NEC「第二回マルチメディアアート大賞」入賞作品決まる NEC主催、日本視聴覚教育協会共催の標記コンクールは、「自由な発想でパソコンを利用して制作したアート作品(CG、アニメ、サウンド、DTP等)」を募集するもので、次のような入賞作品が決まった。

グランプリ、クラスティマソング ビデオ「見えなかつた昨日」横浜 市立青葉台小学校六年三組三七名 文部大臣奨励賞「わたしたちのトキ」静岡県引佐町立久留女木小学校・山下絵梨氏他 学校・児童・生徒部門大賞「樽が淵の竜宮門/カウボーイの英雄

ビイコス・ビル」長野県伊那市立 新山小学校・アイダホ州チャパック小学校他六四名 日本視聴覚教育協会賞「WEB 絵本 おひるねハーティ/ほしぞらのおさんぼ」斉藤昌代氏(北海道) 他全三六作品が入選した。 問い合わせ

〒一五〇 〇〇一三 東京都渋谷区恵比寿四 四 七 第六伊藤ビル六階 NECマルチメディアアート大賞事務局 電話〇三 三四四一 五〇四八

「第四一回科学技術映像祭」入選作品

(財)日本科学技術振興財団、(財)日本科学映像協会、(社)映像文化製作者連盟、(財)つくば科学万博記念財団の共催による標記映像祭において、映画(フィルム・ビデオ)およびテレビ番組の参加作品七三本の中から、次の入選作品が決まった。

内閣総理大臣賞 学術研究部門「ビデオ」草間の宇宙」一七分、栗林自然科学写真研究所企画・製作 科学技術庁長官賞 科学教育部門「ビデオ」ソウリムシ」二五分、堀田康夫(個人)企画・製作、他一作品

トピックス

教育分野におけるインターネットの活用促進フォーラム」開催

通信・放送機構（通称TAO <http://www.tao.go.jp/>）主催による標記フォーラムが、去る三月二二日（水）、東京プリンスホテルにて開催された。これは平成一一年度先進的教育用ネットワークモデル地域事業の各地域における事業展開を通じ、今後の事業展開の方向性及び課題等の把握を図るとともに、次年度実施のマルチメディア活用学校間連携推進事業の方向づけを目的とするもので、全国の各教育委員会学校教育課や教育研究所の職員、モデル地域・モデル校の関係者ら、約三 名が会場をうめた。

始めに、「米国とカナダにおける情報教育」について、東京工業大学大学院社会理工学研究科長・清水康敬氏が、つづいて千葉大学教育学部講師・鈴木敏恵氏による「マルチメディアで未来教育：総合的な学習」の基調講演が行われた。

第二部では、札幌市「札幌市の取り組みとマルチメディア教材デ



ータベースについて、上越市「人がやさしくなれるネットワークづくりを目指して」、長野市「マルチメディア教育利用共同研究」、前橋市「前橋市の教育情報ネットワークの構築」、柏市「学習活動に生かせる地域教育ネットワークの構築と運用」とモデル地域・モデル校からの五事例が各担当者より、発表された。自治体や企業が共同で活動する様子も報告された。

なお、このモデル地域についての報告を次号より、本誌にて紹介していく予定である。

科学技術部門「ビデオ」日本の機械工業シリーズ 未来につなぐ名工の技「二三分、日本機械工業連合会企画、日経映像製作、他一作品

医学部門「テレビ」日曜スペシャル（BS1）『ロボットが手術を変える』五九分、日本放送協会・NHKエデュケーショナル企画・製作、他二作品

学術研究部門「ビデオ」種子の中海 イチヨウの精子と植物の生殖進化「三五分 東京シネマ新社企画・製作、他一作品
ポピュラーサイエンス部門「テレビ」NHKスペシャル 驚異の小宇宙人体 遺伝子・DNA

第4集 命を刻む時計の秘密」五四分、日本放送協会他企画・製作、他四作品

「第八回（平成一一年度）下中教育映像助成金」入選作品

（財）下中記念財団では、環境教育、創造性・自発性育成教育、高等教育等のための教材製作、あるいは教育活動の記録として自作された映像をビデオ作品の形で募集し、その中から教育活動の一層

の発展と継続的努力を行っている先に研究助成金を贈呈している。今年度は次の五作品が入賞した。

「『石の声』 表現行為が導きだすもの」一五分、沖縄県立開邦高等学校芸術科（代表・金城満氏）

「大宮氷川神社東遺跡出土の平安期の金属口琴の復元製作」一五分、日本口琴協会（代表・直川礼緒氏）

「自然観察ウオッチング1 手の上のバードウォッチング」一〇分、小林節郎氏（静岡県立長泉高等学校教諭）

「微生物は闘う」八分、岩楯好昭氏（徳島大学総合学部自然システム学科助手）

「かぜ ふしぎ 発見」一五分、AES教材制作委員会（代表・園部真人氏）

なお、同財団では、過去に助成金を受けた作品のビデオコピーを作成して、一般に貸し出しをしている。利用希望・問い合わせは次の住所へ。〒一六二 〇八四三 東京都新宿区市谷田町二 七 伊東八イム三〇一（財）下中記念財団事務局 下中教育映像助成金係 電話〇三 五二六一 五六八八

「EARTH VISION 99 第八回地球環境映像祭」入賞作品
アース・ビジョン組織委員会は、

小学生用プレゼンソフト「はっぴよう名人」と作文ソフト「ひらめきライター」が、ジャストシステムから発売

昨年ジャストシステムから発売された小学生用ワープロ「太郎スマイル」の追加ソフトとして、「はっぴよう名人」と「ひらめきライター」が発売された。

「はっぴよう名人」は、その名の通り発表活動をサポートしてくれるソフト。総合的な学習の時間を中心に、小学校でもプレゼンテーションの活動が本格化すると思われるが、「パソコンを使った発表活動はまだまだ」と思われている方も多いだろう。この製品はボタンを順番に押ししていけば、簡単にプレゼンシートが作れるので、小学生はもちろん、パソコン初心者の先生方にも十分使える。

同社では、中・高校生用のプレゼンソフトも企画中だという。

「ひらめきライター」は作文ソフト。国語や総合的な学習などで子どもが書く文章の題材とヒントが用意されており、それを参考にすれば、作文が苦手な子でも、ま



とまった文章を書くことができる。画一的で子ども創造性を阻害する心配があるが、この製品は、ヒントを子ども自身がカスタマイズできるようにになっている。つまり自分の文章表現を自分自身の手で豊かにしていくことができるわけである。表現力の低下が問題となっている昨今、一見の価値ある製品である。

価格

「はっぴよう名人」(八八〇〇円)、作文ソフト「ひらめきライター」(七八〇〇円)共に税別

問い合わせ

(株)ジャストシステム 電話
〇三 五四二二 三九八八

●ソフトウェア

日本、アジアオセアニア地域の各国で地球環境をテーマに製作された映像作品一九本の応募作品の中から、一二作品の入賞を決定した。

アース・ビジョン大賞「ブツダの嘆き ウラン公害に立ち向かう先住民」インド、五五分、プロデューサー・Kritika & Bisha

審査委員特別賞「たんぼ 生命をはぐくむ」韓国、五六分、プロデューサー・Lee Eui-ho

最優秀賞「飽食の行方」ホンコン、二分、プロデューサー・Yvonne Ng

他一〇作品が入賞した。なお、これらの作品は地球環境パートナーシッププラザ(東京都港区青山)において視聴することができる。詳細に関する問い合わせは下記住所まで。〒一〇六 〇〇四一 東京都港区麻布台一 九七 飯倉ビル三F (財)地球・人間環境フオーラム内 アース・ビジョン組織委員会事務局 電話〇三 三三五八 五 八九五七
<http://www.webfront.ne.jp/earth-vision/index.htm>

◆学会情報◆

「日本教育メディア学会 二〇〇〇年度 第一回研究会」研究発表者の募集

表者の募集

今日のインターネット時代を迎え、大学教育にも従来の視聴覚教育メディア利用を越えた新たな改善の模索が求められてきている。インターネット利用やマルチメディア機器利用、そして遠隔授業の実験など、その改善の用途は多岐に渡っている。

日本教育メディア学会では、こうした状況を踏まえ、ミレニアムの二〇〇〇年度第一回の研究会を「大学教育におけるメディア利用の新たな方策を探る」をテーマに下記の要領で開催する。また、同研究会での研究発表者も募集している。

- 1. 開催日時 四月二日(土) 一四:〇〇~一七:〇〇
- 2. 会場

日本大学文理学部(東京都世田谷区)

3. 応募及び問い合わせ
コーディネーターの小笠原(日本大学)まで下記のいずれかの方法で知らせる。 (メール ogasawa@chs.nihon-u.ac.jp、電話〇三 五三二七 九七一四) 日本大学文理学部教育学科(フックス〇三 五三二七 九四二

文部省
コンピュータ、インターネット等を活用した著作物等の教育利用に関する調査研究

情報化の進展に伴いコンピュータ、インターネット、衛星通信など、著作物の利用手段が発達普及するとともに、教育の分野においてもこれらを活用した情報化が急速に進みつつあるが、これにより、著作権の保護について、教育現場における問題が増加する可能性が指摘されているため、文部省では、教育現場での著作物等の利用に關し著作権に係わる問題点を整理し、今後における権利制限の見直しの必要性等に関する調査研究を行う。

1・趣旨
教育を目的として著作物等を利用することについては、著作権法に種々の例外規定(権利制限規定)が置かれており、一定の条件のもとに、著作権等の複製等を権利者に無許諾で行うことが例外的に容認されている。しかし、教育現場における情報化の急速な進展に伴い、児童生徒等によるコピー行為や、インターネット等の送信手段を用いた利用行為について、このような例外規定の適用範囲を拡大する必要性も指摘されており、教育現場での意識啓発に加えて、制度上の課題についても調査研究を行う必要がある。

2・調査研究事項
コンピュータ、インターネット等を活用した著作物等の教育利用に係る著作権の制限の見直しの必要性等について
その他必要な事項について

3・実施方法
学識経験者等の協力を得て、調査研究を行う。
必要に応じ、別紙の者以外の者の協力を得るものとする。

4・実施期間
平成十二年二月二十八日から二月三十一日までとする。

学校教育・社会教育の機関での教員・講師によるコピー・配布(第三五条)
・対象となる行為の例
朝刊の記事を教師がコピーして、授業中に生徒に配布する。
テレビの番組を教師が録画して、授業中に生徒に見せる。
インターネットを通じて得た文章・写真などを教師がコピーして、授業中に生徒に配布する。
・対象とならない行為の例
小学生がコンピュータ特別教室での「調べ学習」の結果インターネットを通じて得た文章・写真などを組み合わせてコピーし、同級生に配布する(コピーできるのは教育を担当する者のみ)。
大学の授業・公開講座が通信衛星を通じて放送されているときに、教師が学生に配布した朝刊のコピーを画面に出す(公衆送信は含まれない)。
大学の授業で用いる朝刊の記事を、教授がコピー・配布せずに学内LANのサーバーにアップロードして、各学生にダウンロードさせる(他の教官も使ってしまうため、アップロードは含まれない)。

五) 4・その他
研究発表者は、会誌『日本教育メディア学会研究会論集』第四号(SSN 13448153)に寄稿していただきます。

◆ 短 信 ◆

東映(株)教育映像部では、四月二四日、下記の住所に移転する。
〒一〇四 八一〇八 東京都中央区銀座三 二一七 電話〇三三三三三三 三六一三(教育映像部)、
三五三五 三六三一(関東営業所)、
三五三五 三六一一(企画制作室)、
ファックス三五三五 三六三一
横河プレシジョン(株)は、三月一日付けで、社名を横河エム・イー・ティー(株)に変更した。
なお、AV事業部・AV営業部は、三月一三日より下記の住所に移転した。
〒一八一 〇〇一三 東京都三鷹市下連雀三 三八 四 三 鷹産業プラザ六階 電話〇四二二七六 五七二〇 ファックス〇四二二七六 五七二五
バルコ(株)では、三月一日付けで、代表取締役社長のジョン・ウォーケ氏はヘルギーの本社に帰国し、後任に深津正義氏が就任した。

高まる小学校での英語学習熱

飯塚 健次

新教育課程への移行措置に対応するかのようになり、このところ小学校での英語学習を支援する動きが活発になってきた。

文部省では、小学校の教師のための英語指導の手引きを作成するほか、一月二六日には英語指導方法等改善の推進に関する懇談会（座長＝中嶋嶺雄・東京外国語大学長）の初会合を開いた。地方の教育委員会などでも、今春から始まる総合的な学習の時間で英会話などを含めた国際理解教育が可能になったため、英語の指導助手などを配置したり、教員の研修に力を入れるところも出てきた。

小淵首相のもとに設置される予定の教育改革国民会議の動向とともに注目されたのが、同じく首相の私的諮問機関である「二十一世紀の日本の構想」懇談会（座長＝河合隼雄・国際日本文化研究センター所長）が一月一八日にまとめた

報告書だ。

同報告書は、学校週三日制などとともに、英語教育を拡充すること、長期的には英語を第二公用語とすることを提案した。

国際化時代にあつて国際競争力を維持するには、欧米人と対等に主張できるだけの英語力が必要との認識がこうした提言の背景にある。

企業での実際の対応は遅れているとはいえ、国際社会の中で競争力を高めていくには英語力の向上が必要との認識は、ますます一般的になってきている。

英語推進は予算でも強調

文部省の来年度予算を見て、国際化の推進という名目で合わせて五億八五〇〇万円と前年比で五・三％増額された。新たに行う事業としては、小学校英会話授業の手引等の作成で一五〇〇万円を

計上した。四月からの移行措置で、小学校三年以上で総合的な学習の時間の中で英会話などの学習が可能になるが、これを指導する教員のための手引書を作成するものだ。この手引書では、簡単な英会話に指導を限定するほか、黒板にアルファベットは書かず、中学で学ぶ英文法にも触れずに指導できるようにする方針を掲げる見込み。秋ごろ冊子にまとめ、全国の市町村教育委員会などに配布する計画だ。

このほかALTの増員に対応して研修を充実させる。また今年から来年にかけて、小学校の担任教師とチームティーチングを行うALTのために、英会話指導事例集の英会話学習編と異文化体験学習編を作成したり、教材の調査研究なども新たに行う。二 一年度には、小学校教員を対象に、英会話指導のための研修も行う計画だ。これらは初等中等教育局関連の予算だが、生涯学習局関連では、学校の外で小学生の英会話学習を支援するための予算がつけられている。具体的には、地域の英語塾

や英会話学校などに協力を求め、土・日曜日に英会話教室を開いてもらうための関連経費の一部を補助していくというものだ。英語塾などによる英会話教室開設は、全国でモデル地域を一〇〇カ所ほど指定する計画だ。

小学校での英語学習を支援する動きは地方自治体でも広がっている。横浜市や神戸市、金沢市では、以前から小学校にALTなどを派遣する事業を行っているが、岐阜県でも、四月から岐阜市が全小学校に英語指導の指導員を配置する計画で、同じく同県内の各務原市では、英語学習のソフトウェアを活用して、小学校五年生から中学校一年にかけて、小・中連携の英語学習の研究を進めていくことにしている。

横浜市などが先鞭をつけた小学校への外国人講師の派遣は、今後とも英語指導の指導者確保に悩む自治体では広がっていきそうだ。同時に、金沢市や岐阜市などのように、小学校の教師を対象にした英語研修のための海外研修などを、実施する自治体が増えそう

●新作ソフト

F = 一六ミリ映画、V = ビデオ。作品は文部省選定・特選作品より掲載。

学校教育向

七つのほし

F・一二分、小(低)、道徳
学習研究社・033726 8888

トルストイ原作「大熊星」を素材に映画化したもの。病気の母に水を飲ませたいと願う女の子、干ばつが続く、川も井戸も水が涸れ果てている中で、やつと探し求めた水、その水をめぐっての心やさしい物語をアニメーションで描いたもの。思いやりのある美しい心の大切さをとらえている。

誕生日プレゼント

F・二二分、小(高)、道徳

東映教育映像部・035555 6661

誕生日に贈られた「マザー・テレサ」という一冊の本。プレゼントにゲームソフトを希望した少年は、自分の願いが聞いてもらえず当たり前散らす、なにげなく開いた本の内容を知り、これまでの自分のあやまった考え方を大きく変えていくようすとらえている。

いのちをまもるための五つのやくそく F・二〇分、小(低)、特別活動 日本映画新社・033427 7771

日常生活の中に潜む誘拐などの犯罪の危険性や、自分の命を守る

ための「5つの約束」を覚えることがいかに大切であるか説明するとともに、「子供110番」のシールのある場所を確認しておくなど、犯罪から身を守るための心構えについてとらえている。

お酒は子どもになぜ悪いの？

V・二〇分、小(高)、体育

共和教育映画社・066312 2645

飲酒による脳への影響、急性アルコール中毒、アルコール依存症など、アルコールのもつ有害性を、「大人はよいが、子供はだめ」という言葉に疑問をもつ小学五年のグループによる課題学習のようすを通し説明したもの。お酒は飲まない、絶対に断るといった強い意志の大切さを示唆している。

アメリカ合衆国

V・二〇分、中学校、社会

東京書籍・035600 7523

移民の国 多様な人種と民族、雄大な自然、産業、今日の課題の四つのテーマで構成されたもの。それぞれの内容・項目についての現状や、今後解決しなければならぬ課題など、アメリカ合衆国の特色について具体的にとりあげ説明している。

和楽器に挑戦

V・二一分、中学校、音楽

東京シネビデオ・033242 3151

地域に伝わる祭り囃子を通して和楽器の学習をする中学校や、地元民謡を通して三味線や尺八といった和楽器に親しむ中学校のようすとらえ、伝統的な音楽文化のよさや、和楽器特有の味わいのある音楽の楽しみ方、和楽器のもつ魅力をとらえている。

社会教育向

心かよいあうボランティア活動

F・二〇分、青年・成人、地域社会

生活 リュック・033377 3200

小学校で読み聞かせのボランティアをするAさん、中学校で郷土料理の指導をするBさんなど、学校支援ボランティアで活動する人たちや、父親たちが企画した学校行事を通して、地域ぐるみの子育てを行っているようすなど、子どもたちと共に学ぶボランティア活動とその意義をとらえている。

とび出そうまちの中へ自然の中へ V・二〇分、青年・成人、家庭教育 新映映画・033464 4841

子どもの商業活動体験に取り組む東京・荒川区や立川市の子ども

会、少年自然の家や子ども長期自然体験村で、体験活動に目を輝かす子どもたちの姿など、子どもたちの「生きる力」を育むことを目的として実施されている活動事例を各地に取材しとらえている。

学校にネットワークを

V・二〇分、成人、職業知識技術

日本シネセル・033582 2691

校内で子どもたちが自由にインターネットを利用する。そのための学校内ネットワークの構築の必要性を説明するとともに、ボランティアやPTAの協力など、地域との連携のもと校内ネットワークを構築した事例や、ネットワーク化による効果などをとらえている。

あしたね ゆれ動く心 4歳児

V・二二分、成人、職業知識

技術 岩波映像・035689 2601

初めての集団生活の中で、幼児が体験するいろいろな友だちとの出会い。こうした出会いの中で、さまざまな体験を重ねながら、友だちとのつながりを作っていく過程を、幼稚園での生活を通してとらえたもの。幼児たちの出会いを見守り、教師としてどうかかわりあうべきか示唆している。

やってみようなんでも実験

教育テレビ(金)一八:五〇~一九:一五/再放送(土)一〇:三〇~一〇:五五、翌週(金)(土)の同時刻

☆FAX情報〇三―五四五四―〇八八八/情報番号二三〇

七日・八日・一四日・一五日
 「空気の輪投げ?空気砲の科学」
 実験名人:姫野龍太郎(理化学研究所情報環境室長 工学博士)
 「竜巻」のようにも「台風」のようにも見える「渦輪(うずわ)」を発生させて、科学ショーなどで人気を集める「空気砲」の実験。丸い穴の開けたタンボール箱の中で線香を焚いて、側面をたたくと、「煙のドーナツ」渦輪が飛び出す!

単純なくみの空気が生み出すリング状の空気の流れ。だが、そのメカニズムは大変複雑なのである。今回登場する名人は、計算流体力学が専門。お得意のスーパコンコンピュータによる解析を駆使して、渦輪の正体を見て分かるように解き明かし、より大きな渦輪を速くまで飛ばすための条件

●放送番組

を求めている。

二二日・二三日・二八日・二九日「古代の先端技術 石器づくりに挑戦!」

実験名人:大沼克彦(国士館大学教授・イラク古代文化研究所所長)

大昔の人々は生活に必要なさまざまな道具を石で作った。木を割る石器、肉を切る石器、獲物を突く石器:用途によって材料となる石を使い分け、その特性を活かして加工するという点で、まさに、「製造技術の元祖」である。現代でも、眼球や血管の微細な手術に、鋭利な「コウヨウ石のメス」が使われることがある。

今回の名人は、石器時代の遺跡を調査し、「石器」がいかに作られたか自ら再現しながら研究してきた。この「実験考古学」の手法で、「太古の道具・石器」に秘められた科学・技術を明かす。

中学生日記

総合テレビ(日)八:三〇~八:五七/再放送 教育テレビ翌週(日)一八:二五~一八:五二

※内容に変更が生じる場合があります。

二日「新しい出会い」

最終学年になった中学生の新たな友人関係を築く課程での葛藤を通じ、素直でありたいと思っっている自分の気持ちに気づき、成長していく姿を描く。

九日「ぼくにも学ぶ喜びを」(前編)

異文化に戸惑う外国人生徒と受け入れる側である日本の中学生の悩みを通じ、外国人生徒に対して教育現場や地域社会の中で、無意識の偏見や差別意識が働いてないか問いかけていく。

一六日「ぼくにも学ぶ喜びを」(後編)

二三日「私と親の距離」
 成績優秀で親の信頼も厚いA子は、親に構ってもらいたいという感情に捕われていた。「ブチ家出」という現象が中高生に広まる中、希薄な関係になりつつある親子がお互いの関係を見つめなおしていく姿を描く。

親の目子の目

※放送曜日・時間は地方によって異なります。放送についての問い合わせ〇三―五四〇〇―一九三

〇一

一九六八回

一日「浜益村祭!ボクは芸術の卵」

北海道・浜益村。ここに、縄文時代の土偶・土器を焼く芸術家の親子がいる。一緒に温泉に入ったり、スキーを楽しんだり、土偶をつくったりと時間を静かに共有する二人。父と子のあたたかい心の交流を描く。(北海道放送)

一九六九回
 七日「津田ツチの赤ペン」

子どもとのコミュニケーションが、うまくとれずに悩んでいる教師が増えてきたという。そんな中、三年以上にわたって子どもと良好な関係を持ちつづけてきた教師がいる。定年をむかえた彼の教師生活から、望ましい人間関係のあり方を考える。(青森放送)

一九七〇回
 二四日「しらべ」路上音楽情報

若者の間で流行しているストリート・ミュージック。なぜ、路上なのか?人との触れ合いを求めて路上にやってくる少年も多い。路上の不思議な友だちの輪に入ってみる。(名古屋テレビ放送)

2000（平成12）年度 視聴覚教育関係行事予定表（2000/3/22現在）

日本視聴覚教育協会

●AV情報

名称	期日	場所	主催等
視聴覚教育指導者講座	11月上旬	東京都・国立教育会館社会教育研修所	文部省、社会教育研修所
全国生涯学習フェスティバル	11月1～5日	三重県	文部省、開催地教育委員会
教育情報化総合会議（仮称）		（衛星通信利用予定）	文部省
視聴覚教育総合全国大会	11月1～2日	福岡県北九州市	全視連、学視連、高視協、開催地教育委員会 他
地区別学校視聴覚教育研究大会			学視連、開催地教育委員会 他
北海道地区	11月下旬	札幌市	
関東甲信越地区	10月27日	松本市	
近畿地区	12月1日	大阪市	
放送教育研究会全国大会	7月31日～8月1日	埼玉県浦和市	全放連、NHK、開催地教育委員会 他
教育総合学習セミナー	8月11～12日	横浜市・みなとみらいパシフィコ横浜	日本教育新聞社
映画・テレビ技術展	5月17～19日	東京都・北の丸公園科学技術館	日本映画テレビ技術協会
教育コミュニケーションズ イン ジャパン（東京ビジネスショー）	5月23～26日	東京都・東京国際展示場	視具連（日本経営協会、東京商工会議所）他
国際放送機器展	11月15～17日	千葉市・幕張メッセ	日本電子機械工業会
教育工学関連学協会連合全国大会	10月7～9日	徳島県・鳴門教育大学	日本教育工学会、日本教育メディア学会 他
能力開発総合全国大会	2月6～8日	横浜市・みなとみらいパシフィコ横浜	日本能率協会
教育映像祭中央大会	8月29日	東京都・虎ノ門ホール	視聴覚協会
科学技術祭表彰式、上映会	4月21日 4月20～21日	東京都・北の丸公園科学技術館	科学技術振興財団、映文連
視聴覚教育賞全国自作視聴覚教材・郷土学習教材コンクール 表彰式・発表会	12月	東京都	視聴覚協会、学視連、高視協、全視連
産業映画・ビデオコンクール、表彰式	6月20日	東京都・如水会館	日本産業映画協議会
全国文化・学習情報提供機関ネットワーク協議会	10月12～13日	福岡県福岡市	全国文化・学習情報提供機関ネットワーク協議会
Eスクエア	3月2～3日	東京都・東京ドームホテル	情報処理推進事業協会、コンピュータ教育開発センター
教育メディア関係者合同年賀会	1月5日	東京都・日本青年館	視聴覚協会、全放連